

会 議 録

1 会議名

平成29年度第5回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）協議（公開）

自主審議事項について

視察研修について

（2）その他（公開）

3 開催日時

平成29年8月24日（木）午後6時30分から午後7時50分まで

4 開催場所

中郷区総合事務所 第4会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：荒川清尊、岡田雅範、坂田浪平、高橋京子、高橋達也、竹内昭彦、
竹内靖彦、古川由美子、松原功、水嶋敏昭

・事務局：中郷区総合事務所 木村雄二所長、小嶋淳一次長、城戸俊夫市民生活・
福祉グループ、教育・文化グループ長

総務・地域振興グループ 丸山良彦班長、渡辺智則主任

〔 以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グループは
市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長はG長と表記 〕

8 発言の内容（要旨）

【丸山班長】

・会議の開会を宣言

【高橋会長】

・挨拶

【丸山班長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【高橋会長】

- ・会議録確認：「竹内昭彦」委員と「水嶋敏昭」委員に依頼。

始めに、協議事項(1)の「自主審議事項について」協議する。

先月は、地域協議会で整理した課題を基に区内3地区へ出向き、様々な住民の声を聴いたところである。各会場とも、子育て世代など比較的若い世代からも多く参加いただき、有意義な意見交換会が実施できたと感じている。今回の実施結果については、資料No.1により会場ごとにまとめられているので、これを基に課題や目指すべき方向性を再度整理したいと考えている。意見交換会の感想を含め、各委員の発言を求める。

【竹内(靖)委員】

岡沢農民研修センターの会場で進行役を務めたが、公共交通の関係では乗合タクシーの利便性があまりよくないことや、スクールバスを今後どのように考えていくのかという発言が印象的であった。また、高齢の方から「勝馬の基金は、未来の子ども達のために有効に使ってもらいたい。」という発言があり、大変ありがたいと感じた。ひばり荘への送迎については、その後管理人等と話をする機会があり、基本的に空いている時間で要望があれば整体の利用に関わらず無料送迎が可能になったとのことである。同荘としても、できるだけ地元の方からも利用してもらいたい思いがあるようだ。

【竹内(昭)委員】

中郷コミュニティプラザの会場で進行を担当した。ここでは、参加者の多くが30～40代の子育て世代であった。発言の中で共通するのは、やはり子育てに関することであり、具体的には相談し易い環境や広域的な保育園の利用を求める声があった。また、少子化に伴い子ども会も年々人数が少なくなってきており、活動が難しくなってきているとのことである。近隣の子ども会とのコミュニケーションをとるなど、横の繋がりが大切になってきていると感じた。

【高橋会長】

縄文資料館の会場で進行を担当した陸川委員が本日欠席しているため、私から感想を述べさせていただく。当会場は主に南部地区の住民から参加いただいた。小・中学校から比較的遠い地区であることから、若い世代からは乗合タクシーやスクールバスに関する発言が多くあった。また、子育てし易い環境づくりに力を入れてほしいとい

う声も聞かれた。公園や子どもを遊ばせる施設を充実させてもらいたいとのことで、このような点も考慮していかなければならないと感じたところである。

【坂田委員】

今回の意見交換会は事前の声かけが上手くいき、子育て世代の方から多くの意見をいただくことができたと感じている。やはり、子育ての問題は当区に限らず大きな課題であると改めて思った。また、農業問題についても同様である。大事なのは、これらの大きな課題があることを地域協議会としてしっかりと認識しておくことである。全体として、地域住民から様々な分野の意見を聞くことができ、大変良かったのではないかと思っている。

【荒川委員】

各会場で出た共通の課題としては、やはり子育て支援が挙げられるのではないだろうか。また、中学校のスクールバス運行についても切実さが伝わってきており、何とかして考えていかなければならないと感じている。

【水嶋委員】

縄文資料館の会場で発言のあった、子ども達の遊べる環境づくりというのは、もう少し踏み込まないと実現は難しいと思われる。今、学校は夏休み中だが、外で遊んでいる子どもをほとんど見かけない。このような状況の中で、具体的にどのような施設を望んでいるのか私には理解し難い。また、中郷コミュニティプラザの会場では子育ての相談をしたくても相談する場所がないとの発言があったが、このような場合は地区の民生委員に相談する方法もあるのではないかと思う。更に、各会場で発言のあった乗合タクシーについては、各便の始発時刻 1 時間前に予約をしなければならないということが未だ住民に浸透していない気がする。バスが運行されていた頃は、停留所で待っていれば決められた時間になったら来てくれたが、現在は電話で予約をしなければ停留所でいくら待っていても来てくれない。タクシー会社はなるべくお金をかけたくないで、利用者が誰もいなければ運行しないということなのだろうが、これでは我々がお客なのかタクシー会社がお客なのかわからない。最後に今回の発言には無かったことだが、横の連絡が上手くいっていないのか、二本木駅で行うイベントは区内の他の行事と重なることがよくある。このため、参加者は役員やボランティアの人がほとんどである。区外の人を呼び込むことは大事なこともかもしれないが、まずは地元の人から多く参加してもらうようにすることが最優先ではないかと思っている。

【古川委員】

岡沢農民研修センターの会場で「中郷区の独身者は一体どれくらいいるのだろう。」という発言があった。これは、私の中で一番共感したことである。人口や子どもの数が減ったのは、独身者が多いことが大きな原因の一つとして挙げられる。このため、他の地域ではなるべく独身者を少なくするための取組みを行っている所もあるのに対し、中郷区は何もしていない、何かすべきではないかということである。まだ小さい子どもがいる若いお母さんがこのような発言をして、きちんと問題意識を持っており、何とかしなければならないと切に感じた。また、子育ての相談についてだが、先ほど水嶋委員が民生委員に相談するのも一つの方法だと言われた。しかしながら、民生委員は男性の方もいるため実際は相談しにくいのではないかと思っている。地区の先輩で相談できるような人がいてくれれば、子育てにそんなに悩まなくてもよいのにと感じた。

【竹内(靖)委員】

地域協議会として何をしたいのかではなく、何をするかという段階に入るべき時期にきていると思っている。個人的に焦っているのかもしれないが、二本木駅前トイレの改修も含め、この中郷区の活性化に向けたお金の使い道を考えてほしいという住民の声も聞いており、そろそろ特定財源を具体的にどのように使っていくかというゴールを見据えていかなければならないと感じている。また、子育てに関する問題は協議会委員がいくら議論しても、当事者でないとなかなか解決できないところがあり、我々の出す意見が、その方達に対してエゴの部分が強く出ることも懸念される。そのような意味では、いろんな人の意見を聞いた中で、関係する分野についてその都度市に提言していくことが協議会としての役割だと思う。

【古川委員】

私もそのように思っていたところである。方向性ばかり話し合っても、いつになったら具体策が出るのかわからない。やはり、できることから実行していかないと、いつまで経っても問題の話し合いのみで終わってしまうような気がする。例え小さなことでも出来ることから実行していくべきだと思う。

【松原委員】

乗合タクシーの件で一言申し上げたい。私は公共交通懇話会の委員を務めているが、一昨年の会議で出た話では上越市はこの乗合タクシーの運営に際し、年間多額の補助

金を出しているとのことである。このような中、皆さんの中で乗合タクシーを利用したことがある者は誰もいないのではないだろうか。ある委員が、「このように利用者が少ないのであれば、いっそのこと乗合タクシーの制度そのものを無くしてしまい、補助金を各戸へ配ってもらったほうがよい。」旨の発言をした。そうすべきなのではないかと思うくらい、この乗合タクシーは使わないルートになっている。以前、私も1回くらいは利用しようと思い、タクシー会社に電話をかけてみた。すると、会社からは「すみません。予約は1時間前に締め切りました。」との返答があった。正にどちらがお客かわからない状況である。私の住んでいる近所で、乗合タクシーを利用している人は私が把握している限り2人だけである。そもそも、乗合タクシーは高齢者の乗り物だと思っている人が多いのではないだろうか。これは、昔のバス路線のルートを踏襲し運行しているだけのものである。インターネットで検索してみると、路面電車を運行しているところは黒字を出している。聞くところによると、5年ごとにその時々状況に合った停留所の見直しがされているそうである。一方、当区では未だに停留所すら以前と何も変わっていない。これでは乗る人間が少なくて当たり前だと思う。

【高橋会長】

皆さんから一通り発言いただいた。今回の意見交換会で出た地域住民からの貴重な意見も取り入れ、これから課題を絞り込みながら、まとめていきたいと思う。今後は、部門別に別れて分科会形式で行うのか、これまで通り全体協議で進めるのか、この辺りも含めて次回以降調整していくことにしたい。ちなみに、個人的には分科会形式で行うのがよいのではないかと感じているところである。以前も部門別に分かれて協議をしたことがあった。当時は、一定の時間を設けそれぞれの分科会で協議し、その後全体会で協議結果をお互いに報告したと記憶している。そのような方法が一番よいのかと思っている。全体でいろいろなことを言っても、なかなかまとまらないのではないだろうか。皆さんも、それぞれ考えがあると思うので、どのように進めていけばよいか、次回までに考えをまとめてきてもらいたい。

【高橋会長】

皆さん、他に意見等はあるか。

ー全委員なしー

【高橋会長】

特にないようなので、この件については、これで閉じることとする。引き続き、竹

内（靖）委員から新たな自主審議事項について提案があるとのことである。竹内（靖）委員より、提案内容の説明を求める。

【竹内(靖)委員】

「経塚斎場の使用について」の自主審議を提案したい。この件は、昨年度末頃に所管課である健康づくり推進課より報告並びに説明を受けたものである。内容は、新上越斎場が供用開始するまでの間、市内料金と市外料金の差額を補助するというものであった。しかしながら、その後、頸北斎場や新上越斎場に係る方針に見直しがあったことにより、経塚斎場が今後どのような取扱いになるのか心配されている住民もいる。説明を受けてから期間も経っており、市ではこれからどのような議論をされていくのか見えない部分もある。このため、中郷区地域協議会として、経塚斎場に係る基本的な考え方を早急に検討し、市に対し要望すべきことは要望するなど意見をまとめていく必要があるのではないかと考えている。いずれにしても、市からある程度の方向性が示されてからでは遅いと思っている。

【高橋会長】

今ほど、竹内（靖）委員より新たな自主審議事項として「経塚斎場の使用について」提案があった。同斎場の使用について記載されている当時の説明資料を改めて配布するので、内容を確認のうえ当案件を自主審議事項に加えるか否か、皆さんの意見等を求める。

【坂田委員】

新上越斎場は、現在どのような状況になっているのか。

【木村所長】

同斎場の建設については改めて検討し直すことになっているが、現段階では特に進展がない状況である。

－他、意見等なし－

【高橋会長】

それでは、「経塚斎場の使用について」自主審議事項に加えることにしてよいか。

－全委員賛同－

【高橋会長】

全委員より賛同いただいたので、当案件を自主審議事項に加え、審議を行うこととする。同斎場に係る考え方などについての意見等を求める。

【古川委員】

住民の中には、新しい斎場が供用開始になれば経塚斎場は使えなくなると考えている人もいるようである。仮に、供用開始後も引き続き差額の補助をしていただけることになれば、大変ありがたいと思っている。

【高橋会長】

経塚斎場の使用についての報告並びに説明を受けた後になって、頸北斎場の廃止が撤回されたことや、新上越斎場の建設そのものが白紙に戻った旨の報道がされた。このような中、当時の資料に記載されている次の点がどうしても引っかかる。差額の補助は、新上越斎場の供用開始までの間となっており、これは供用開始されれば補助制度が無くなることを意味していることになる。どうしても経塚斎場を使用したい場合は、市外料金を支払うことになるため、必然的に新上越斎場を使用せざるを得ない状況になるのではないかと考えている。この辺りは、そもそも納得がいかないところだと、説明があった当時から感じていた。このような施設は一極集中するのではなく、分散した形が望ましいと思っている。このため、供用開始後においても是非とも補助制度を継続してもらいたいと考えているところである。このようなことを踏まえ、市に対する要望等について正副会長で案をまとめてみたいと思うが、皆さん如何か。

－全委員賛同－

【高橋会長】

それでは、正副会長で案文を作成し、次回地域協議会において提示のうえ、内容等について改めて審議することにした。協議事項(1)の「自主審議事項について」は、これで閉じることとする。

【高橋会長】

続いて協議事項(2)の「視察研修について」協議する。

前回の地域協議会において、視察のテーマについては正副会長で絞ることを了承いただいた。これを受け、事務局を交え副会長と相談・検討した結果、今回2つの行程プランを提示したいと考えている。各プランの内容について、事務局の説明を求める。

【渡辺主任】

・資料No.2に基づき説明

【高橋会長】

今ほど説明があったとおりである。これから視察先を決定するにあたって、委員の

皆さんの質問・意見等を求める。

－全委員なし－

【高橋会長】

質問・意見等がないようなので、どちらの案がよいか多数決を採りたい。案①を希望する委員の挙手を求める。

－6名挙手－

【高橋会長】

ちなみに、本日欠席した2名の委員については、各案それぞれ1名ずつ希望しているとのことである。よって、案①を希望する委員は7名となり過半数に達していることから案①で決定してよいか。

－全委員賛同－

【高橋会長】

皆さんから賛同いただいたので、視察先は案①に決定する。事務局には、今後先方と連絡を取り、日程等の調整をお願いしたい。

【高橋会長】

皆さん、他に何か質問、意見等はあるか。

－全委員なし－

【高橋会長】

特になければ、協議事項（2）の「視察研修について」は、これで閉じることとする。

【高橋会長】

続いて「その他」に移るが、委員の皆さん何かあるか。

【坂田委員】

広報上越の8月1日号にエフエム上越の記事が大きく掲載されていた。この放送をラジオで聴きたいのだが、中郷区では受信できず残念に思っている。上越市全体のエリアで聴けるようにする必要があるのではないか。

【木村所長】

もともと、エフエム上越は合併前上越市を受信エリアとして開局したものである。このため、中郷区だけが聴こえないということではなく、他のほとんどの区も同じ状況となっている。また、合併前上越市でも谷浜や桑取地区など山間部では受信できず、

あくまで限られたエリアの中で放送されているものである。担当課へは、中郷区を始め、できれば市内全域で聴けるよう改善を求む意見があったことを連絡したい。

【高橋会長】

他に発言がないため、これをもって本日の会議を終了する。

次回の会議は 9 月 28 日(木) 午後 6 時 30 分から「中郷区総合事務所」で行うこととする。

(終了 午後 7 時 50 分)

9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165)

E-mail:nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。